

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 27 年 2 月 19 日(木) 15:30 ~ 16:30 第一会議室

## 1. 挨拶

— 須藤健一（館長）—

## 2. ニュースリリース

— 池谷和信（広報企画会議長）—

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

## 3. 公開講演会

### いやしの旅のウラ？表？—現代アジアツーリズム考

詳しくは  
こちら

「ケア」や「癒やし」を目的としたツーリズムに焦点をあてお話しします。新しいツーリズムの人気の原因や現地社会への影響、またこのような現象は日本社会の現状をどのように反映しているのか、今後どのようなツーリズムが旅客と現地社会とのより深い関係を築く上で望ましいのかについて理解を深めます。



(小野真由美撮影)

会 期：2015 年 3 月 20 日（金） 18：30 - 20：45

場 所：オーバルホール（大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞社ビル B1）

定 員：480 名 [申込要／先着順／参加無料] ※「参加証」が必要です

主 催：国立民族学博物館・毎日新聞社

— 松尾瑞穂（先端人類科学研究部・准教授）—

## 4. 国際ワークショップ

### 民族学資料の展示への利用と ソースコミュニティとの協力関係

詳しくは  
こちら

本ワークショップでは、従来から協力関係を抜きにしては活動できなかったロシアとアメリカ、そして日本と同様に近年そのような関心を持ち始めた韓国の、「国立」もしくはそれと同レベル以上の規模と経営母体を持つ博物館の展示の諸問題の事例と比較研究を行います。

会 期：2015 年 3 月 10 日（火） 10:00 - 18:00

場 所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室

定 員：20 名 [申込不要／先着順／参加無料] ※研究者対象

— 池谷和信（広報企画会議長）—

## 5. 研究フォーラム

### 世界災害かたりつぎフォーラム

災害に強い社会を構築するには、被災経験や教訓を風化させず、世代・国・地域を越えて語り継ぎ、得られた知見をさらなる減災活動に活かさなくてはなりません。大災害を経験した世界各地で様々な災害語り継ぎを展開する組織や団体と先端的減災研究に取り組む機関が一堂に会し、互いの取り組みを共有します。

会 期：2015 年 3 月 17 日（火） 17：30 ~ 20:00

場 所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台

定 員：100 名

【展示】

会 期：2015 年 3 月 14 日（土）～ 18 日（水） 10:00 ~ 20:00

場 所：せんだいメディアテーク 5 階・6 階

主 催：TeLL-Net フォーラム実行委員会

— 林勲男（文化資源研究センター・准教授）—

## 6. 研究フォーラム 世界文化遺産「ナスカの地上絵」の研究と保護を めぐる国際協力

詳しくは  
こちら

南米の古代アンデス文明を代表する「ナスカの地上絵」は、世界文化遺産に登録されながらも、学術的解明はまだ途上です。総合的に取り組む日本チームの成果を紹介しつつ、破壊の危機に瀕した地上絵の保護について、ペルー人研究者とともに討議します。

会 期：2015年3月19日（木）14：00～16：30

場 所：国立民族学博物館 第4セミナー室

定 員：80名 [申込不要/先着順/参加無料]

— 関 雄二（研究戦略センター・教授）—

## 7. 国立民族学博物館・金沢大学共同開催文化資源学シンポジウム 文化資源の保存・継承に向けた国際協力

本館と金沢大学との間で締結された学術協定に基づくシンポジウムであり、両機関において独自に進めてきた文化資源の保存と継承に関するプロジェクトを紹介し、接点をさぐることで、今後共同で実施できる研究事業を模索します。

会 期：2015年3月29日（日）13：30～17：30

場 所：石川県政記念しいのき迎賓館

定 員：70名 [申込不要/先着順/参加無料]

主 催：金沢大学

共 催：国立民族学博物館

— 関 雄二（研究戦略センター・教授）—

## 8. 春の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス

詳しくは  
こちら

遠足や校外学習など、博物館見学の準備や事前・事後の学習に役立つツールをご紹介します。さまざまなご相談もお受けいたしますのでこの機会にぜひ、みんぱくへお越しください。

会 期：2015年4月3日（金）/4月6日（月）

時 間：14：00～16：30（受付は13：30～16：00）

会 場：国立民族学博物館 第5セミナー室（2階）

— 大西真一（広報企画室長）—

## 9. 研究紹介 最新の研究紹介

詳しくは  
こちら

「台湾イノシシを追うー民族学と考古学の出会い」  
（野林厚志 著）臨川書店

— 野林厚志（文化資源研究センター・教授）—

「世界の文字事典」(庄司博史 著) 丸善出版

— 庄司博史（民族社会研究部・教授）—

## 10. 研究こぼれ話 日本語と真逆のマヤ諸語が教えてくれるもの

マヤ諸語は日本語と構造的に逆です。語順は動詞ー目的語ー主語ですし、名詞の方に「は」とか「が」などの文法的情報がつく日本語に対して、動詞の方に文法的情報がつかます。自動詞の主語と他動詞の主語も違って表されます。真逆の構造は、ものの見方の違いの大切さを教えてくれました。



— 八杉佳穂（民族文化研究部・教授）—